

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が大幅に縮小した。  
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が縮小した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、 金属製品、電気機械、木材・木製品、 鉄鋼、窯業・土石製品、非鉄金属	設備投資需要の持ち直し IT関連需要の増加 住宅需要の改善
	悪化	食料品、輸送用機械	巣ごもり消費の一巡 半導体不足による自動車の減産
非製造業	改善	建設、卸売、運輸・郵便、小売、 宿泊・飲食サービス	住宅需要の改善 製造業からの貨物量増加 外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直し
	悪化	不動産、情報通信、物品賃貸	自社製品・サービスの販売不振 公共工事関連受注の減少

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。  
—— 製造業は、「悪い」超幅が拡大する見通し。非製造業は、今回調査並みの「悪い」超となる見通し。

(事業計画)

- 2021年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を上回る計画である。  
—— 経常利益は、製造業で、設備投資需要の持ち直しや堅調なIT関連需要などから、増益計画となっている。非製造業は、工事受注の減少やコストアップなどから、減益計画となっている。  
—— 経常利益を前回調査対比でみると、製造業では、堅調なIT関連需要などから、上方修正となった。非製造業では、観光需要の低迷などから、下方修正となった。

- 2021年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。
  - 製造業は、需要が好調な製品の能増投資や前年度からの投資計画の後ずれなどから、前年を上回る計画である。非製造業は、前年の大型投資の反動などから、前年を下回る計画である。
  - 前回調査対比で見ると、製造業では、投資計画の見直しなどから、下方修正となった。非製造業では、新規出店計画の拡大などから、上方修正となった。
- この間、2020年度の売上高は前年を下回り、経常利益は前年を上回った。設備投資は前年を下回った。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「上昇」超となった。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が大幅に拡大した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が小幅に拡大した。
- **資金繰り判断D. I.**は、「楽である」超幅が拡大した。**貸出態度判断D. I.**は、「緩い」超幅が縮小した。**借入金利水準判断D. I.**は、前回調査並みの「低下」超となった。

以 上